

レファレンス だより

2014年7月号
No. 140

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。(法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。)

■レファレンス受付件数 (2014年4月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
102	1,468	427	316	449
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
658	73	855	1,163	5,511

(開館日 24日 一日平均 230件)

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月のレファレンス徹底解説!

Q: 江戸時代の小判や銀貨の種類を知りたい。また、金1両が何文にあたるか書かれた資料はあるか。



■江戸時代や貨幣についての事典を探してみる!

『事典しらべる江戸時代』(林 英夫・青木 美智男/編集代表 柏書房 2001年) 2階C10 R210.5/ジ
江戸時代の貨幣は、金・銀・銭の「三貨制度」。解説を元に、種類と単位を表にしてみると以下。

金貨	大判・小判・二分判・一分判・二朱判・一朱判	1両=4分=16朱の4進法(大判は除く)
銀貨	丁銀・小玉銀等	1貫匁=1000匁の10進法
銭貨	基本的に銅製(寛永通宝、宝永通宝等は、これにあたる)	1貫文=1000文の10進法

幕府が慶長14(1609)年に定めた公定相場では、金1両=銀50匁(元禄13より60匁)=銭4貫文。ただし、地域や身分によって主に使われる貨幣に違いがあった事、幕府の貨幣政策の多様化で色々な貨幣が誕生した事、三貨の交換相場が各地で独自に立てられ刻々と変動した事などにより、「貨幣の通用は混在」していたという。

『日本通貨図鑑』(利光 三津夫・植村 峻/編・共著 日本専門図書出版 2004年) 2階D6 R337.21/-
各種貨幣のカラー写真と詳しい解説あり。藩独自の貨幣についてやコラム「貨幣雑和」等もある。

■江戸時代や貨幣についての一般書や児童書を探してみる!

『図解江戸の暮らし事典』(河合 敦/監修 学研 2007年) 1階ポ69 210.5/ズ

解説の他、金1両が銀、銭貨でいくらに当たるかをイラストの金・銀・銭三貨換算表で表している。また1両(=5000文の場合)の価値を西瓜158個分など、色々な目安をイラストで紹介している。

『お金でさぐる日本史 2』(松崎 重広/著 原島サブロー/画 国土社 1993年) 1階子2 33/マ

江戸時代のお金の種類や仕組みを、イラストや貨幣の写真を用いて詳細に分かりやすく解説している。

■インターネットで情報を探してみる!

①国立国会図書館「レファレンス協同データベース」【<http://crd.ndl.go.jp/reference/>】でキーワード“江戸”“貨幣”等を検索。「江戸時代の一両の価値は現在のいくら位か(東京都江戸東京博物館図書室)」等、関連する質問が見つかった。回答で紹介されている資料が参考になる。

②「江戸時代の1両は今のいくら?—昔のお金の現在価値—」(日本銀行金融研究所貨幣博物館HP内)【<http://www.imes.boj.or.jp/cm/history/historyfaq/1ryou.pdf>】分かりやすい解説あり。



その他にもこんな質問がありました

Q：ローマ字には「し→si, shi」「づ→du, zu」のように二通りの表記をするものがあるが、何か表記の仕方に決まりがあるのか。

■日本語表記に関する資料を探す

『図解日本の文字』（沖森 卓也・笹原 宏之／著 三省堂 2011年）1階ポ77 811/ズ

日本におけるローマ字使用は、室町時代末にポルトガル人宣教師たちが来日したことを契機に始まり、明治以降の西洋文化の流入によって一般にも広がったとされる。現行の綴り方として「ヘボン式」と「日本式」が挙げられ、学校教育や駅名表示など、場面によって複数の表記が併存している状況である。

ヘボン式→ 同じ行の中でも子音の表記が不規則になることがある。

例：サ行「sa shi su se so」 ダ行「da ji zu de do」

日本式 → 同じ行の子音は同じローマ字を規則的に当てる。

例：サ行「sa si su se so」 ダ行「da di du de do」

『現行の国語表記の基準 第6次改訂』（国語研究会／監修 ぎょうせい 2001年）2階B3 811/ゲ

いくつかの方式が並立していたローマ字表記を統一するため、昭和29年に出された内閣訓令「ローマ字のつづり方の実施について」が掲載されている。ヘボン式・日本式の両方の表記を含む二通りの表を示し、いずれを用いてもさしつかえないとしている。

Q：グループホーム等の福祉施設での食事のレシピが載っている本はあるか。

■福祉施設の食事を理論から学べる本

『実践介護食事論 第3版』（杉橋 啓子・山田 純生／編 第一出版 2008年）2階E10 498.59/ジ

介護を要する人の食事ケアについて解説した資料。身体機能の低下に伴う嚥下障害や栄養面、現場での介助の実践に加えて、献立作成の例やレシピも紹介されている。

『高齢者福祉施設の給食経営管理 2 献立編』

（三橋 みち・杉橋 啓子／編著 第一出版 2004年）2階D16 369.26/コ

食品の購入や献立作成、衛生管理など、福祉施設での給食経営の実際について学べる。四季・食費別の献立例が豊富で、レシピの掲載もある。

■レシピ集

『おいしくできる介護料理教本』（寺島 治／著 旭屋出版 2004年）1階ポ65 498.59/チ

分量を変えることで、施設での大量調理にも家庭での介護にも活用できる資料。噛みやすさ・のみ込みやすさだけでなく季節感にも配慮し、楽しく食事ができるよう工夫したレシピが並んでいる。

『福祉施設の行事食ガイド』（日本栄養士会全国福祉栄養士協議会／編 第一出版 1995年）閉架書庫

7月なら七夕と土用の丑というように、年中行事ごとの献立とレシピを紹介している。あわせて行事の由来もわかる。

Q：彫刻の「ミロのヴィーナス」の両腕はとれているが、もともとはどのような姿だったのか？

■百科事典をひいてみる

『日本大百科全書 22 ませ-もぬ』（小学館 1994年）2階C1 R031/ニ

ミロのヴィーナスとは1820年、エーゲ海の小島、ミロス島で農夫によって発見されたギリシア神話の女神像。両腕を欠くため、原型がどうであったか、さまざまに解釈されてきたが、いまだ定説がないとある。パリのルーブル美術館が所蔵している。

■美術関連の本を探す

『遍歴の名画名品』（酒井 伝六／著 新潮社 1988年）閉架書庫

ヴィーナス像の両腕について、5つの説を解説している。(下図参照)

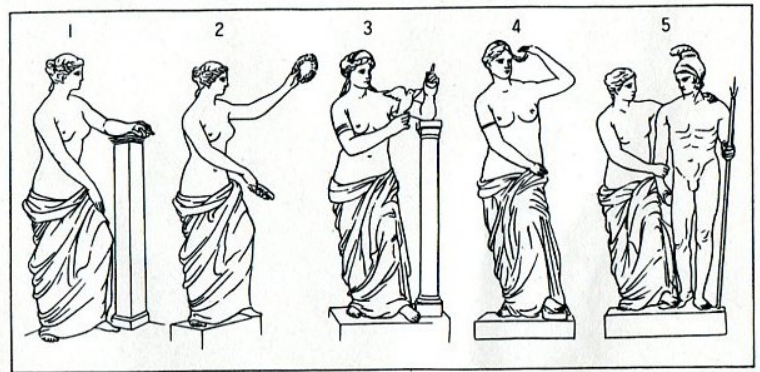
説① 左手を台木の上ののせ、リングを持っている。右手は腰布をつまんでいる。

説② 両手に勝利の花輪を持っている。

説③ 左手を台木の上ののせリングを持ち、
右手に鳩をのせ、リングを食べさせようとしている。

説④ 左手で髪をつかみ、右手で腰布をつまんでいる。水の中に入ろうとしている。

説⑤ 軍神マルスの隣に立ち、右手でマルスの腕を抱き、左手を肩に置いている。



欠けた両腕をめぐる五つの説(フランスの考古学史家、アンリ・ポール・エドワーの作図による)

■雑誌記事を探す

『芸術新潮 1980年2月号』閉架書庫

ミロのヴィーナスは、海の女神で3又の槍をもっていたという説や、勝利の女神で盾をもっていたという説も取り上げられている。欠けた両腕についての謎は、人々を興奮させたとある。

Q：婚外子への差別(相続など)について日本は国連から是正を求められている。「児童の権利条約」等における婚外子に関する問題を論じている資料はあるか。

この分野の主な機関は児童の権利委員会(CRC: Committee on the rights of the child)。日本は1994年に「児童の権利条約」を批准。(『国際機関総覧 2002年版』より)

■国連文書(ドキュメント)

児童の権利委員会ドキュメント(英語、下記全て所蔵)

『CRC/C/JPN/3(日本政府報告書)』『CRC/C/JPN/Q/3(質問書)』『CRC/C/JPN/Q/3/Add.1(日本の回答)』
『CRC/C/JPN/CO/3(最終見解)』 2階国連A7

上記ドキュメントで本件の経緯と内容がわかる。2006年5月に第3回目の日本政府報告書の提出。同委員会で審議され、その質問事項への日本の回答後、最終見解が出される。その中で嫡出でない子の相続に関し差別を禁止することが勧告されている(2010年6月)。

なお、婚外子、非嫡出子=non-legitimate child, illegitimate child, a child out of wedlock

■関連所蔵資料

『Legislative history of the Convention on the Rights of the Child v. 2』
(Office of the United Nations High Commissioner for Human Rights United Nations 2007年)
2階国連A1 F014.00/07-03/2

「児童の権利条約」が成立(1989年)した背景と審議の過程を説明。本件に関する記述あり。

『A commentary on the United Nations Convention on the Rights of the Child』
(Sharon Detrick. M. Nijhoff Publishers 1999年) 2階国連A1 FR809ENG/369.4/DE

同条約の逐条解説書。婚外子に関する問題の過程や識者の見解が述べられている。

『Study of discrimination against persons born out of wedlock』(United Nations 1967年)
閉架書庫 F014.00/FF68-03

「児童の権利条約」以前。歴史的背景や統計など様々な角度から婚外子に関する問題を検証している。1959年に国連総会で採択された「児童の権利に関する宣言」も含む。

■インターネット

外務省 HP【<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>】のフリーワード検索ボックスに「CRC/C/JPN/CO/3」を入力。上記「児童の権利委員会ドキュメント」の最終見解『CRC/C/JPN/CO/3』の日本語訳あり。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『日本史<50年周期>逆引き年表：50年前・100年前…はどんな年』
 (吉川弘文館 2006年) 2階C10 R210.03/二

年表とは起こった出来事を年月順に記した表のことですが、この本は調べようとする年、つまり‘今’を起点に50年前、100年前…に、どのようなことが起こったかをさかのぼって調べられる年表です。言いかえると、今年が過去のどんな出来事から50年目、100年目…に当たるかが分かる年表です。西暦2001～2050年の各年に対して、50年周期で何が起こったか記載されており、上限は2000年前。国外の出来事も簡単に記されています。求める年が西暦何年になるかは、50年単位周年早見表で確認できます。

使ってみました！⇒ 今年(2014年)の100年前、200年前、300年前の出来事を調べてみる。

100年前：1月12日 桜島大噴火。溶岩により大隅半島と地続きになる。

〈国外〉7月28日 第一次世界大戦、始まる。

200年前：3月2日 亀井南冥、没(72)。9月 伊能忠敬「沿海実測全図」を完成。

〈国外〉5月3日 ナポレオン、エルバ島に到着。

300年前：8月27日 貝原益軒、没(85)。



図書館活用術 ～2階レファレンスカウンターについて～

「暮らしの疑問」におこたえします！

総合図書館2階レファレンスカウンターでは、図書館の資料やデータベース、インターネットを活用して、みなさまの調べもののお手伝いをしています。お気軽にご相談ください。

例えば…こんなとき



こんな方法でお探します！

